

ここでまたしても皆様にお詫び。

今月号には前号の続きとなる「夢幻の道を追う 房総スカイライン 後編」を掲載すべきでしたが、当然入手出来ると踏んでいた建設当初の設計図の入手に手間取り、執筆を延期せざるを得ませんでした。

着工直前まで行っている当初計画ルートは、当然詳細なルート設計も行われているはずですし、それを元にして書かれたと思われる当時の新聞記事なども発見されています。

しかし、この道路を管理している千葉県道路公社にも、千葉県の行政文書を保管している千葉県文書館にも、郷土資料を保管している千葉県立図書館にも、ルート設計図は保管されていないことが判明しました。

今、他に保管している場所が無いかを探しています。後編はもう少しお待ちいただくかも知れません。  
(ヨッキレン)

3日連続で本を買う、という過去経験のない暴挙に及んでしまった。  
それを読み終わらないうちにAmazonで本を注文してしまい、すぐに届く。  
市史を見るため図書館に行ったら、帰りのバッグには本が5冊入ってた。  
さすがにヤバイと感じ、なんとか返却期間内に大急ぎで5冊読み終える。  
その本を返しに行ったら、帰りのバッグにはまた本が4冊・・・。  
読書バブルが崩壊寸前である。(つ)

先日「フォーカシング」というものを習いました。自分が抱える不安を、少し離れたところに置いたうえで、それと正面から向き合い、絵に描いて形にしてみるというもの。ストレスマネジメント法?の一つなのだから。できあがった絵は自分が抱えている不安を的確に表現しているようでもあり、そうでもないようであり、とても不思議な感じがしたことです。しかし形にすることで、漠然とした不安をモノとして取り扱えるようになるのかも知れないなとも思いました。そんな体験もさることながら、その過程で「自分自身に共感し涙する」という不思議なことを体験(うまく言い表せてないが、今のところこれが最も近い表現と思う)。悲しみや情けなさ、感動、あるいは怒りの心頭から零れたようなものでもない、初めて流すタイプの涙でありました。あれは一体何だったんだろう。(n)